

科目の種類	選択必修	科目名	政治経済	学年	3	単位数	6
コース	文系進学コース						
教科書	実教出版「高校 政治・経済」						
副教材	実教出版「新政治・経済資料」						
科目のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治・経済・国際社会のしくみとその問題点について、客観的に理解します。 ・ 上記の諸問題を解決するときの課題について考えます。 ・ 人間尊重の精神に基づいて、人間としての在り方・生き方についての理解と思索を深めます。 ・ 良識ある公民（主権者）として、必要な能力と態度を育てます。 							
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義形式の授業が中心となります。 ・ 单元ごとに小テストを行い授業内容の確認をします。 ・ 1年間の約2 / 3を内容検討、約1 / 3を「演習」にあてます。 ・ 副教材の資料集を活用します。 							
より良く学習を進めるためのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会を構成している政治・経済のしくみや、その問題点について学ぶことが目的の一つですから、日々起こり、報道されている社会現象や出来事について、新聞等で触れ、理解する努力をすることが大切です。 ・ この科目は、単に教科書にある重要語句を覚えることだけが大切なことではなく、現代社会に起こる出来事について「なぜ、どうして」という疑問を持ち、自分の考えを持つことが大切です。 ・ 自ら考え、調べる習慣をつけるようにしましょう 							
評価方法 テストについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な用語や政治・経済のしくみについての理解度についての出題になります。 ・ 内容をしっかり理解し、確実な知識を身につけてください。 							
○平常点について <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験が中心になりますが、ノート整理や課題、授業への参加状況、出席状況などを加味し総合的に評価します。 ・ 单元ごとに確認テストも行います。 							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則 人権の世紀 政治と法 民主政治の原理と発展 世界の政治体制 第2章 日本国憲法の基本的性格 日本国憲法の成立 平和主義 基本的人権の保障	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の意義、法の支配、民主政治の発達と人権の発達、世界の政治体制、20世紀の教訓を学習し、民主政治の課題は何かを考えます。 ・議会政治の発達、自然権の承認、基本的人権の発達、国際的人権保障という流れを人権宣言の発達の過程を振り返りながら理解していきます ・日本国憲法の成立、日本国憲法における平和主義、基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解していきます。 ・日本国憲法の平和主義、基本的人権の保障、国民主権などの内容が、どのような歴史的反省の上に築かれているか考える。
	第 1 回	定 期 考 査
	第3章 日本の政治機構 日本の政治機構のしくみ 国会・内閣・裁判所 地方自治 第4章 現代日本の政治 戦後政治の歩み 政党と選挙 行政機構の優位と官主導社会 政治参加と世論 第5章 現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の三権分立、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解し、他の国の制度とくらべて今後の課題を考える。 ・日本の制度が、イギリスやアメリカとどのような共通点や相違点をもっているか発見させ、日本の制度に必要な改革は何か考える。 ・戦後政治の流れと日本の特徴、政党と選挙、行政機能の優位、世論の役割について学習し、日本の政治がかかえる問題について考える。 ・戦後の日本の政治において何が争点になってきたか理解させ、1993年の55年体制の崩壊以後国民は何を学んできたか考える。 ・国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動、東西冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考える。
第 2 回	定 期 考 査	
後期	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容 経済活動と経済社会の発達 資本主義経済の一般的特徴 第2章 現代経済のしくみ 企業と市場機構 国民所得と経済成長 金融・財政のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の特徴、資本主義経済の発達と変容、資本主義経済の特徴について学習し、経済活動の意義について考える。 ・資本主義経済の基本的な特徴を理解させ、それらが歴史的にどのように変化してきたか、企業間競争のあり方や政府の役割に注目して考える ・経済主体の役割、市場のしくみ、国民所得、経済成長、金融のしくみ、財政の役割を学習し、経済活動がどのように調整されているか考える。 ・市場機構が需要と供給の不均衡の調節を通じて資源配分を行っていること、金融や財政の適正な運営が国民経済にとって不可欠であることを理解させる
	第 3 回	定 期 考 査
	第3章 現代経済と福祉の向上 日本経済の発達と産業構造の変化 日本の中小企業と農業 環境保全と公害の防止 労使関係・労働条件・社会保障 第4章 世界経済と日本 商品の流れと国際収支 資本主義正解経済の発展 日本経済の国際化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の発達のながれ、中小企業問題、日本の農業、国民の生活、環境・公害問題、労働問題、社会保障の役割について学習し、さまざまな課題にどのように取り組むべきか考える。 ・商品・資本の国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて考える。 ・国際分業の発達によって、国境をこえて国どうしの相互依存関係が深まり、お互いの存在が不可欠になっていることを理解させる。
学 年	末 考 査	

